

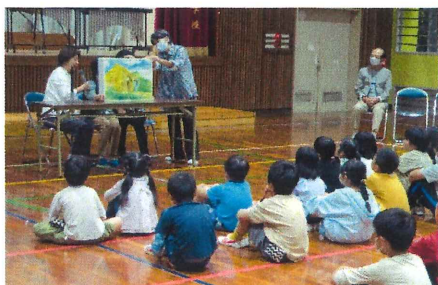
# 『さっきやま魂』

R5. 11. 8 第14号

発行人：校長 中山 未永

## 楽しかった「紙芝居」と「五島弁カルタ」

11月6日(月) 読書週間の取組の一つとして「五島昔話を楽しむ会」の方に来ていただき、紙芝居を見たり五島弁カルタに挑戦したりしました。



紙芝居を見たり五島弁カルタに挑戦したりしました。

まずは、「大白瀬と小白瀬」の紙芝居。手作りされた大型の紙芝居に子ども達は釘付けになり、五島に伝わる昔話を興味深く見ていました。「大浜から富江方面を見ると、この瀬を見ることが出来る。」と聞き、実際に見てみたいと思った子どももいるかもしれません。その場所を通る機会があれば、昔話のことを話題にしていだければと思います。

次に、「五島弁カルタ」 カルタをする経験も少なくなってきた子ども達だと思いますが、さらに「五島弁」ということもあり、どんな姿が見られるのかとても楽しみでした。カルタは通常のものより大きく、取るときは、遠くの札まで届くように「はえたたき」を使いました。

体育館フロアにカードが並べられ、子ども達一人一人の手にははえたたき、遊びの準備が整いました。耳を澄まして読み手の声を聞き、それに反応した子ども達の持っているはえたたきが勢いよく札をたたきます。札をとって大喜びする子ども、あと少しのところでは取れずに悔しそうな表情の子ども、時間が経つにつれてゲームはどんどん盛り上がり、あっという間に札がなくなっていました。

ゲームをしながら感じたことは、「五島弁が分からない。」ということです。きっと、子ども達も最初の言葉だけを手がかりに札を探し、札に書かれている意味は分からなかっただろうと思います。テレビ番組で「五島弁」が使われましたが、私たちの生活の中では、だんだん使われなくなってきている言葉だと感じています。「標準語」と「五島弁」のそれぞれの良さを生かして、臨機応変に使えるようになったら、「ふるさとへの思いも、より深まっていくのかなあ。」とも思いました。

「五島昔話を楽しむ会」の皆様のおかげで、楽しい時間を過ごすことができました。これをきっかけにして、読書への興味・関心が一層高まっていくことを期待しています。



## いよいよ本番！ ～五島市小中学校音楽発表会～

11月10日(金) いよいよ「五島市小中学校音楽発表会」本番を迎えます。本来は、今年度の参加校ではありませんでしたが、統合が決まったことで、当初の予定を変更し、全校で**崎小最後の音楽発表会**に臨むことにしました。

子ども達が発表するのは、合唱奏「カントリーロード」と斉唱「崎山小学校校歌」です。小体連が終わった頃から少しずつ合奏練習をスタートし、個人練習を重ねてきました。10月下旬からは、さらに練習のペースも上がり、「昼休みの全校練習」にも毎日取り組んできました。それぞれ



に大切な役割があり、一人一人が輝くステージになると信じています。

「本番まであと2日」となり、子ども達の気持ちも高まっています。最後のステージ、たくさんの方々に見ていただきたいと思っています。